

加工業務用キャベツの4月中旬～5月上旬収穫に「YR503」、「NNS-C-91」が有望

「YR503」は9月上～中旬播種で4月中～下旬収穫、「NNS-C-91」は10月下～11月上旬播種で4月下～5月上旬収穫が可能

背景・目的

- ・4月～5月上旬は加工業務用キャベツの端境期で、抽苔、裂球および内部障害(チップバーン)等により品質が著しく低下
- ・4月～5月上旬どり栽培に適した品種と作型が必要

成果の内容

○「YR503」の特性

- ・9月上～中旬播種，4月中～下旬収穫で，結球重2.8kg前後，可販収量11t/10a程度を実現
- ・抽苔，裂球および内部障害の発生は「夢ごろも」より少ない

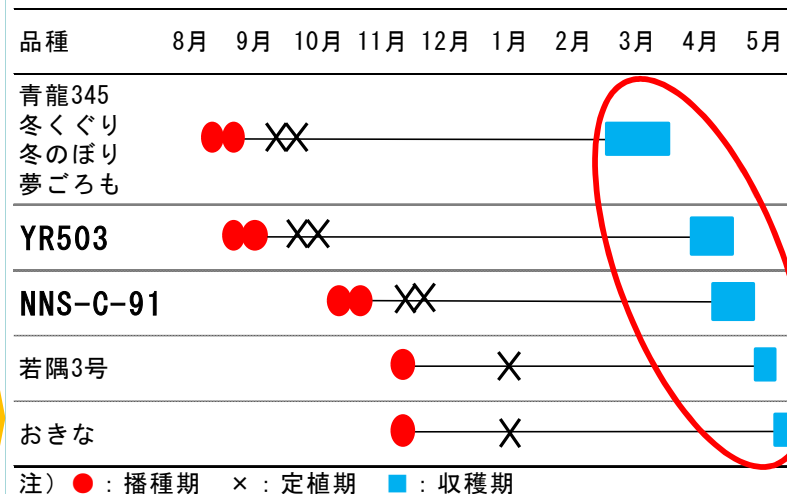
○「NNS-C-91」の特性

- ・10月下～11月上旬播種，4月下～5月上旬収穫で，結球重2.6kg前後，可販収量7t/10a程度を実現
- ・抽苔，裂球の発生は「若隅3号」と同程度，内部障害の発生は少ない

播種期	品種名	可販収量 (t/10a)	抽苔 程度	裂球株率 (%)	内部障害 発生度
4月中旬～下旬収穫					
9月上旬 ～中旬	YR503	10.8	1.9	9.0	0.4
	夢ごろも	11.3	2.6	15.8	3.3
評価		○	◎	◎	◎
4月下旬～5月上旬収穫					
10月下旬～ 11月上旬	NNS-C-91	7.3	1.6	22.5	5.3
	若隅3号	6.9	1.5	24.6	14.2
評価		○	○	○	◎

注)◎:優れる, ○:同等

導入
メリ
ット



従来より内部障害の少ない
キャベツが収穫でき、
春どり栽培のリレー出荷が可能

期待される効果

- ・加工業務用キャベツ農家の経営安定化

鹿児島県農業開発総合センター 大隅支場 園芸作物研究室

普及対象・範囲
加工業務用キャベツ生産者・県本土全域

公募 (球肥大性良好な晩抽性キャベツ
有望系統の選抜と安定生産技術開発)